

○2番（小室信隆議員） 2番小室信隆でございます。議長のお許しをいただきましたので、通告に従い質問させていただきます。よろしくお願いいたします。

最近、お墓や墓地に関する社会的な問題がマスコミでよく取り上げられるようになったと感じます。全国的な少子・高齢化、核家族化の伸展により大きく社会情勢が変化している中で、都市部におきまして、人口が集中することにより墓不足の状態が続き、一方、地方ではお墓の管理する人がいない、いわゆる無縁墓が増加する等の墓問題が発生しているといえます。

私も昨年10月に大洗町の町営墓地に永代墓ができたことを新聞で知り、現地を確認してまいりました。大洗町では、承継者がいないことにより墓地が無縁化することを不安視する利用者のニーズに応え、永代供養墓を整備したそうです。大洗町の永代供養墓は鉄筋コンクリートの施設で、施設内には骨壺を管理する納骨棚があり、15年間保管した後、地下の合祀室と呼ばれる部屋に散骨される仕組みになっております。

そこで、私は、常陸太田市が管理している市営霊園の状況を把握するため、過日、瑞竜霊園を初め、幾つかの市営霊園を確認してまいりました。その結果から3点の質問をさせていただきます。

まず1点目の質問でございますが、市営霊園を視察した際に、墓石の建っていない区画が多く見受けられました。そこで、市営瑞竜霊園を初め、市営霊園の空き状況、及び募集の方法についてお伺いします。

次に2点目の質問ですが、瑞竜霊園の駐車場につきまして質問させていただきます。瑞竜霊園駐車場は面積も広く、利用しやすい駐車場であると思われませんが、残念ながら現状では碎石が敷かれており、お年寄りや障害のある方が駐車場を利用する場合、車椅子等では動きにくく、お墓まで行くのに困難を来していると思われします。以前に市議会において質問がされておりますが、駐車場の舗装に関し、今後、具体的な計画があるのか。あるのであれば、内容についてお伺いします。

最後に3点目の質問ですが、市営霊園を確認した際に、瑞竜霊園と大中第二霊園につきまして未整備の区域がありました。未整備の区域について、永代供養墓等の建設予定があるのか、今後の整備計画についてお伺いします。

以上3点、ご答弁をお願いいたします。

○益子慎哉議長 答弁を求めます。市民生活部長。

〔西野千里市民生活部長 登壇〕

○西野千里市民生活部長 瑞竜霊園の整備拡充についての3点のご質問にお答えをいたします。

初めに、瑞竜霊園の現状についてお答えいたします。

瑞竜霊園につきましては、昭和59年度から段階的に墓所の整備、販売を行ってきておりまして、直近では平成26年度に177基を整備、販売をし、現在までの総数は、2,048基で、全て販売済みとなっておりますが、霊園全体の約4分の1に当たる530区画につきましては、まだ墓石が建立されていない状況でございます。他市町村の公営墓地等におきましては、購入後一定期間内に墓石の建立を規定している例がございますが、瑞竜霊園ではそのような規定を設けてい

ないことから、将来的な使用を見込んで購入された方々が、未使用の状態のまま新たな親族、縁者に継承されているといったケースが多くなってきているものと思っています。

また、一度販売はいたしたものの、継承者がいない、あるいは使用者の住所が遠隔地となり使用見込みがなくなったことなどによりまして返還された区画が、平成29年度は現時点までに、瑞竜霊園で7基、町屋霊園で1基、玉造霊園で1基、小妻霊園で1基発生いたしております。このうち、瑞竜霊園と町屋霊園につきましては、昨年度までは返還を受けた区画につきましては、随時、希望者に販売をいたしておりましたが、返還されるケースが増えてきていることなどによりまして、今年度からは、希望者に対しまして公平性を確保するために、公募による販売をするということといたしまして、1年分をまとめて翌年度当初に公募をし、希望者が多数の場合には抽選により販売することといたしておりまして、本年4月5日から20日まで募集を受け付けてまして、5月8日に抽選会を行うということで、既にお知らせはホームページで周知を行っているところでございます。

なお、市営の霊園で現在販売している区画があるのは里美地区のみでございまして、里川霊園が5区画、徳田霊園が2区画、小妻霊園が5区画、小中霊園が2区画、大中第二霊園が8区画、大菅霊園が1区画の合計23区画で、これらは随時申し込みを受け付けている状況でございます。

続きまして、2点目の瑞竜霊園駐車場の舗装整備と、3点目の今後の整備計画につきましては関連がございますので、あわせてお答えをさせていただきます。

瑞竜霊園につきましては、前段でも申し上げましたように、昭和59年度から使用を開始いたしておりますが、その時々販売の状況を見ながら区画の増設を重ねてきておりまして、現在の総数は2,048区画で、返還区画を除いて全て販売済みとなっております。前回の区画増設工事の際に発生いたしました残土を東側の区域に移しまして整地を行い、次期の区画増設に備えてまいりましたが、一部でのり面が崩落するなど地盤が不安定な状況にございまして、今後、整備を進めるに当たりましては、整備箇所の地盤調査を行いまして、安定した地盤を確保しなければならないという技術的な課題がありますとともに、少子・高齢化の時代にありまして、継承者不在やお墓に対する需要の多様化といった問題も視野に入れまして、本市における今後の公営墓地整備のあり方、方向性を見直し、整理を行いまして、改めまして整備計画を立てていく必要があるものと考えております。

ご質問の駐車場につきましても、これらの整備計画に合わせまして、身障者等のスペースの確保、舗装整備につきまして対応してまいりたいと考えております。

なお、議員よりご発言がございました永代供養墓の建設につきましてでございますが、近隣自治体では議員のご発言にございましたように、大洗町で整備されたほか、日立市でも整備計画が進められていると伺っております。お墓の整備につきましては、地域社会や家族の事情、考え方等によりましてさまざまな形態が考えられ、また、変化をしてくれております。永代供養墓の整備につきましては、少子・高齢化の進展など社会環境が変化する中で、都市部における住民等間で希望する方々が増えてきているということは承知をいたしておりますが、宗教法人等も含めまして、本市においてどの程度の需要が見込めるのか、市内の他の墓地の状況や近隣自治体の状況、

さらには取り組み事例なども十分参考にしながら、今後の整備計画の中で検討をしてみたいと考えております。

○益子慎哉議長 小室議員。

〔2番 小室信隆議員 質問者席へ〕

○2番（小室信隆議員） ご答弁ありがとうございました。ご答弁の内容につきまして理解いたしました。

市営霊園の状況につきまして、1点のみ再質問させていただきます。

平成29年度に瑞竜霊園で返還された墓地が7基あるとのことですが、把握している範囲で結構ですので、瑞竜霊園では毎年どのくらいの墓地の返還があるのかお伺いします。

○益子慎哉議長 市民生活部長。

○西野千里市民生活部長 ただいまのご質問にお答えいたします。

瑞竜霊園におきます過去の返還された墓地の数でございますが、先ほどご答弁を申し上げましたが、29年度を含めまして、過去10年間で50件の返還がございまして、多い年では9件の返還があり、近年では増加傾向ということで返還が増えてきている状況でございます。

○益子慎哉議長 小室議員。

○2番（小室信隆議員） ご答弁ありがとうございました。

返還された墓地の理由の多くは、遠方であることや近隣のお墓を購入したとのことでしたが、これは少子・高齢化の核家族により家や先祖代々の墓を継続して管理する者がいなくなり、結果、遠くの方が管理することとなり返還したものだと想像されます。

私の身近な方からも、子どもたちが独立し、他の市町村に生活の場を構えているので、お墓を建てても子どもたちに負担がかかるのではないかと悩んでいる話を聞きます。本市においても、無縁墓の問題は例外でないと感じております。今後、継続して管理することが困難になる墓地の増加が見込まれる中、永代供養墓の需要も増加するものと思われ、さらに、市営霊園や宗教、宗派を問わず、誰でも利用できるため、市が管理する霊園において永代供養墓を設置することが重要であり、前向きに検討していただけるよう要望しながら、私の一般質問を終わります。